

令和8年9月11日

保護者各位

鳥栖市立田代中学校
校長 原田 聡子

令和8年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和8年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1 令和8年度全国学力・学習状況調査について

令和8年4月23日、下記のような内容で全国一斉に中学校3年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

(1) 教科に関する調査（国語、数学、英語科）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
調査問題では、①と②が一体的に問われています。
(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校生徒の姿

(1) 国語について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を下回っていました。
- ・「思考・判断・表現」の観点のうち「読むこと」については、全国の平均正答率を上回っていました。しかし、「話すこと・聞くこと」「書くこと」については、全国の平均正答率を下回っていました。
- ・「記述式」の問題について、全国の平均正答率を上回っていました。
- ・「読むこと」について、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができるかどうかをみる問題で、全国の平均正答率を大きく上回っていました。これは、日々の授業で文章を読み、自分の考えを記述する活動を充実させている成果だと思われます。

(2) 数学について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率と同程度でした。
- ・評価の観点のうち、「思考・判断・表現」の観点については、全国の平均正答率と同程度でした。しかし、「知識・技能」の観点については、全国の平均正答率を下回っていました。
- ・「知識・技能」の観点のうち、同類項の意味を理解しているかどうかをみる問題は、全国の平均正答率を大きく上回っていました。これは、用語の意味を確認するだけでなく、実際の計算式にあてはめて、繰り返し取り組んできた成果だと思われます。しかし、2直線が平行になるための条件を理解しているかどうかをみる問題は、全国の平均正答率を大きく下回っていました。

(3) 英語について

- ・全体の平均正答数は、全国の平均正答数を下回っていました。また、IRT バンド分布比較では、全国に比べて中間層が多く、上層が少ないという傾向でした。
- ・「聞くこと」「読むこと・書くこと」いずれの項目についても、全国の平均正答数を下回っていました。
- ・日常的な話題について、話を聞き、概要を捉えることができるかどうかをみる問題において、全国の平均正答率を大きく上回っていました。しかし、社会的な話題について、話を聞き、要点を捉えることができるかどうかをみる問題においては、全国の平均正答率を大きく下回っていました。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果から見える本校生徒の姿

- ・「朝食を毎日食べていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」といった、基本的な生活習慣に関する質問について、肯定的な回答が全国平均を上回っていました。
- ・「自分には、よいところがあると思いますか」や「将来の夢や目標を持っていますか」といった、自己理解に関する質問について、肯定的な回答が全国平均を上回っていました。
- ・家庭学習に関しては、平日も休日も1日当たり1時間以上勉強していると回答した生徒の割合は全国平均を大きく下回っていました。
- ・「1、2年生のときに受けた授業で、ICT 機器をどの程度使用しましたか」という質問について、「ほぼ毎日」と回答した生徒の割合は全国平均を大きく下回っていました。今後も各教科の授業実践において、積極的に ICT 機器を活用する場面を設定し、生徒の学力向上につなげていきます。

4 今後の改善策（生徒の力をさらに伸ばすために）

- ・各教科において、グループ活動など、生徒の対話活動の場を積極的に取り入れ、生徒の自主的、意欲的な学習を促すとともに、授業の活性化を図ります。
- ・国語において、話し合い活動の際、役割に応じた発言の場の設定を行うことで、「話すこと・聞くこと」の力を高めていきます。また、意見文などの文章を書く活動の際、目的や意図に応じた表現になっているかどうか推敲する場の設定をすることで、「書くこと」の力を高めていきます。
- ・数学において、特定の単元でしか学習しない用語や表現を繰り返し復習することで、基礎学力の定着を図ります。また、演習問題に取り組む場面を多く設定することで、図形の性質や関係を理解することができるようになります。
- ・英語において、問題文から場面設定を読み取る必要がある問題を授業内で取り扱うことで、「読むこと」の力を高めていきます。また、ALT との対話活動をより一層充実させることによって、「聞くこと」の力を高めていきます。
- ・ご家庭でも次のようなことに心がけていただければと思います。

1 家庭での学習時間をつくってください。

- ◎学習する時間や時間帯を決め、取り組ませることで学習習慣を身に付けさせてください。
- ◎スマートフォンやゲーム機などの利用は、家庭での約束を大切にして、今後も長時間にならないよう声かけをお願いいたします。

2 生活のリズムを整え、お子さんとのコミュニケーションの時間を上手に使いましょう。

- ◎引き続き、早めに起床して、朝食を毎日食べる習慣が身に付くようにしてください。
- ◎今後も、将来の夢や就きたい職業等について、日頃から話題にして取り上げてください。

3 がんばっていることや良くできたことをほめて、自尊感情を高めていきましょう。